



グルージャ盛岡 サポーターズカンファレンス 議事録

■開催日

7月2日（日）10:00～11:40

■場所

中永井公民館 第二分館（〒020-0834 岩手県盛岡市永井 18 地割）

■出席者

株いわてアスリートクラブ

代表取締役社長 菊池 賢

常務取締役 宮野 聡

強化・プロモーション担当 松田 賢太

■目次

- ・開会の挨拶 代表取締役社長 菊池賢
- ・グルージャ盛岡 今後の展開のご共有
- ・事前質問へのご回答
- ・会場内での質疑応答

【開会の挨拶：代表取締役社長 菊池】

皆様おはようございます。まずは、日頃よりホーム&アウェイの試合にて、気持ちのこもった応援をしていただき、誠に有難うございます。また、先日の天皇杯 浦和レッズ戦では、平日にもかかわらず、多数のサポーターの皆様にご足を運び頂き、熱くご声援を頂きましたことに、重ねてお礼申し上げます。

本日集まり頂きましたのは、これまでのグルージャ盛岡の動きについて、サポーターの皆様にご説明させて頂くためでございます。岩手“一岩”のクラブを名実共に達成する為、その皮切りとして北上市にホームタウンの追加をご承認いただきました。また、先日発表のありました通り、北上市での初のJリーグ開催も承認を得ることが出来ました。これにつきまして、色々ご意見を賜りながら、8/20の試合を是非成功させたいと思います。

また、既にご承知の通り、ユニフォームにも岩手県のロゴである、「黄金の國 いわて」をつけさせて頂くこととなりました。行政との連携も徐々に深めていき、県内外での岩手県の発信にも貢献しつつ、Jクラブの持つ強みを発揮していきたいと思っております。

本日はよろしくお願いたします。



【開会にあたって：常務取締役 宮野】

おはようございます。改めまして、本日は暑いところ、また、試合前の準備等もある中、多数の皆様にお集まりいただきまして誠に有難うございます。

本来であれば、もう少しゆとりを持った日程にて開催させて頂きたかったのですが、先般リリースいたしました通り、6月27日付で北上市のホームタウン追加が決まりました。また、この追加と併せて、8月20日に行われるホームゲーム ガンバ大阪U-23との試合を、いわぎんスタジアムから、北上総合運動公園北上陸上競技場に変更することを決めさせて頂きました。

今回の追加、および北上市での公式戦開催にあたっては、Jリーグとも半年程前から議論を重ねて参りまして、6月の実行委員会および理事会にて上申させて頂くスケジュールで進めておりました。

本日の進行の中では、サポーターの皆さま、特にいつもホームのゴール裏でご声援頂いている皆さまとは、北上陸上競技場の設計からして、どの位置でご声援を頂くのか等について、後ほど、北上陸上競技場の写真を見ながら議論をさせて頂ければと思います。

機を逸せず今回のクラブの決定、および今後の展望についてご説明させて頂きたかった理由としては、今後、残りの県内31市町村とも、ホームタウン追加に向けた話し合いを進めて参ります。早速、今週から動いているのですが、クラブからではなく、どこかからその動きを耳にした、ということにならないよう、かつ、忌憚のないご意見を早い段階で頂くことで、サポーターの皆さまにとって、より誇りあるクラブに成長を遂げて参りたく、本日程での開催とさせて頂きました。

中身の濃い機会となりますよう、なるべく意見交換の時間を設けさせて頂ければと思います。本日はどうぞよろしくお願いたします。



【グルージャ盛岡 今後の展開のご共有-①：宮野】

まずは、どのような背景で岩手“一岩”のクラブへの発展を目的とした取り組みを行うに至ったかの「背景」と「目的」についてご説明申し上げます。

岩手県から、日本屈指のプロサッカークラブを誕生させるために



背景

- 2014年にJリーグ入りを果たしたグルージャ盛岡は、これまでは盛岡市のみをホームタウンとし、活動区域である岩手県全域でサッカー教室や様々なイベントを通じて地域スポーツへの振興等を行って参りましたが、岩手県の面積は広いことから、盛岡との距離がある地域での当クラブの認知度や興味は薄く感じられました。
- 他クラブの状況を見てみますと、各都道府県内の中の一つの市をホームタウンとしていたクラブが、徐々にホームタウンを追加する、およびチーム名に県名等を追加することで、名実ともにクラブの立地的基盤を広域に広げ、より活気あるプロサッカークラブへの変貌を遂げています。

目的

- グルージャ盛岡としては、これまで支えて頂いた岩手県の皆様に、より親しまれ、人気・実力共に岩手が誇る日本屈指のプロサッカークラブを目指す為に、今後、益々幅広い事業展開を進め、岩手県全域を巻き込んだ活動を行いたいと考えています。
- また、130万人の岩手県民と更なる繋がりを作り、県外に向けても、盛岡市を中心に岩手県全体をアピールし、地域貢献の拡充に努めて参りたいと思います。
- 上記の実現に向け、2017年中に岩手県全土のホームタウン追加を行い、2019年からは名実ともに岩手“一岩”のクラブとして始動することを目指します。

2

[背景]

グルージャ盛岡としては、過年度から県内全域でサッカー教室や様々なイベント出演を通じてホームタウン活動をして参りましたが、どうしても一過性で終わることが多く、その後も継続的に興味・関心を持っていただくには至らないケースが散見されました。

これは、活動の質そのものにも依るところはありますが、わたしも昨年の11月からこちらに赴任させて頂いて痛感したのですが、岩手県は面積が広いことから、盛岡市との距離がある地域では「おらが街のクラブ」と精神的に思ってもらえることが、なかなか難しいことが感じられました。

他クラブの状況を見てみますと、各都道府県内の中の一つの市をホームタウンとしていたクラブが、徐々にホームタウンを追加する、およびチーム名に県名等を追加することで、名実ともにクラブの立地的基盤を広域に広げ、より活気あるプロサッカークラブへの変貌を遂げています。グルージャ盛岡も、「県に1つ」のJクラブというメリットを活かして、県内全域を、ホームタウンという精神的な繋がりや距離的課題等を打破し、盛岡市を中心に、Jの素晴らしさを広めていければと思います。



[目的]

その目的としては、クラブとして、これまで支えて頂いた岩手県の皆様に、より親しまれ、人気・実力共に岩手が誇る日本屈指のプロサッカークラブを目指す為に、今後、益々幅広い事業展開を進め、岩手県全域を巻き込んだ活動を行いたいと考えています。

また、130万人の岩手県民と更なる繋がりを作り、県外に向けても、盛岡市を中心に岩手県全体をアピールし、地域貢献の拡充に努めて参りたいと思います。

これらの実現に向け、2017年中に岩手県全土のホームタウン追加を行い、2018年からは実質的に、2019年からは名実ともに岩手“一岩”のクラブとして始動することを目指して参りたいと思います。

【(ご参考) 事前質問：今後の展望に織り交ぜてご回答いたします。：宮野】

こちらの12のご質問は、これからご説明いたしますクラブの展望と重複する部分がございますので、展望を織り交ぜながら先にお応えさせていただきます。

なお、一部、第三者の批判やプライバシーの侵害に関わりかねない表現がございましたので、当方にて若干修正させていただきます。

1. 本カンファレンス開催の案内がニュース一覧から探さないと解らない。ネガティブな事では無いのにリンクをフラッシュの部分やトップページになぜ判りやすく配置しないのか？
⇒HP バナーによる固定掲載の配慮が行き届いておらず、申し訳ございません。ニュースリリースやSNSでの都度告知をして参りましたが、それだけではリーチできない方々もいらっしゃるかと思いますので、次回以降に改善いたします。
2. ホームタウンを岩手県全域に拡大して行くとのことだが、ホームゲーム開催地の比率はどのように考えているか？ あくまでも県都盛岡市を中心とした開催を希望する。
⇒クラブ発祥の地である盛岡市を中心に、ホームタウンは岩手県全域に拡大して参ります。ホームタウンとホームスタジアムは概念が異なっており、そもそも、ホームスタジアムにて80%の公式戦開催が義務付けられています。今後も、盛岡市のいわぎんスタジアムをホームスタジアムとして活動して参りますので、残り20%を県内で順基準スタジアムとして認められた施設で開催することを検討し、クラブとしてより意義のある開催プランを練って参ります。
3. 北上市だけでなく今後の岩手県全域のホームタウン化を支持するが、岩手県北(久慈市や二戸市など)ここは特に重要視しスピード感を出しホームタウン化(ホームタウンまでいかななくてもグルージャ色の強い地域)してもらいたい。
⇒ホームタウン追加にあたっては、新規ホームタウンの依頼&Jでの承認は勿論のこと、都度、既存のホームタウンおよび県サッカー協会からも承認を頂かなければなりません。従い、クラブとしてのロードも然りですが、既存ホームタウンや県サッカー協会の皆様にも骨を折る作業



をお願いしてしまう為、クラブとしては、残り 31 市町村の全てからホームタウン追加の依頼を頂いた上で、一括して既存ホームタウンおよび県サッカー協会にご承認いただき、年内に J リーグに申請することを計画しております。

4. 北上市は会長や社長のお膝下であるのは周知の事実であるが、いの一にホームタウンに北上市を追加した理由は盛岡からの移転への布石なのか？ Yes, or No でお答え願います。

⇒No です。北上市を先んじてホームタウンに追加させて頂いたのは、夏芝の北上総合運動公園北上陸上競技場にて、今シーズン中に、希望郷いわて国体のメイン会場である素晴らしいスタジアムにて、岩手の皆さまにスケールの大きい、大型ビジョンも駆使したスポーツエンターテインメントを体感して頂きたいというクラブの想いから、実現させて頂きました。ホームタウンは、移転云々という概念はなく、また、ホームスタジアムに関して、盛岡から移転する予定はございません。とはいえ、現在のいわぎんスタジアムが、クオリティーとして観戦にご満足頂けるものかという、これは、グルージャ盛岡のみならず、いわぎんスタジアムを使用するすべての方々が改善の余地あり、と感じていらっしゃると思います。

ご存知の通り、将来、J2⇒J1 の階段を上っていく為には、スタジアムの問題をクリアしないと行けません。民の力で、グルージャ盛岡の為に莫大な資産を投下して素晴らしいスタジアムを作って頂けたら話は早いですが、現実的には、サッカーを競技とする当クラブはじめ、スタジアムを活用する様々な競技の皆さま、およびスタジアムと街の一体化による「街づくり」を謳ったスマートベニューの考えを、行政とも議論しながら、官民一体となって進めていくのが主軸になるのでは、と個人的には考えています。野球場の建設が最近記事になっていましたが、プロ野球のない岩手県で、どのように採算が取れるのか、ライブ等の活用をどう計画しているのか、隣接設備や街との一体化をどのように考えているのか。批判ということではなく、そこに、どのように市民・県民は、税金の投入という観点を踏まえて満足いくものとなるのか、果たして本当に野球場がベストな選択なのか。既に決まっているかもしれませんが、スポーツへの資金投入額はある程度限られたものかと思しますので、行政や他の競技の方々と話せる時には、グルージャ盛岡単独の観点ではなく、そもそも論から議論し、ひいてはクラブの発展にも繋がる打ち手を見出したいと思っております。

5. 盛岡市の近隣を固めていく事もせずいきなり飛び地をホームタウンにする理由をお聞かせ願います。ガンバ大阪は 2004 年に大阪全域ホームを 14 市 3 町へ減らした上にその中の 3 市を重点エリアとする施策(J リーグニュースプラス 2008 年 4 月号参照)を行なっている。また川崎フロンターレも川崎にとことんこだわり、スタジアム近隣 3 区に絞った戦略で観客動員を上げているのは周知の事と思っております。これとは真逆の事を行おうとしている意味はなんでしょうか？盛岡をとことん掘り起こしたのでしょうか？

⇒北上市を先んじてホームタウン追加した理由は、先程申し上げた通りとなります。ガンバ大阪さんや川崎フロンターレさんの動きも把握しておりますが、各クラブ、それぞれの方針に則って行っておりますが、こうした方針の一つとして、県・府内に複数の J クラブがあることが挙げられます。縄張りではないですが、「この街はうちのクラブだ」といった拡大の道を選ぶ



よりも、人口もある程度いてファンも根付いている街に注力しよう、というフェーズを構築している姿が見受けられます。

グルージャに目を移すと、盛岡市をひたすら深耕し続けるのも一つですが、クラブの想いの一つである、岩手県にプロスポーツ文化を根付かせたいという想い、また、「県に一つ」という立ち位置を踏まえ、今回採る方針のほうが、盛岡市を中心に、県内全域に亘って深耕できると判断いたしました。

6. 今朝の岩手日報を見て驚きと怒りを覚えた。「グルージャ盛岡」を応援しているサポーターは、他のJクラブと同様にホームタウンが盛岡市で名称も盛岡だから応援してきたのであって勝手な事をするな。やっと J のステージに上がり、これからスタジアム改修などを伴って J2、J1 と登りつめるのを夢見てる時に、ホーム分散だのチーム名変更だの、よくまあ平気でそういうことができますね。そういうのは●●●●岩手とでもすべきことでしょう。グルージャでは横領行為だかで辞職した社員がいたが、監督も含めた現職はそれより遥かにタチが悪い。
⇒「県に一つ」のJクラブであり、地元のJクラブを応援したいという想いに、グルージャ盛岡は応えていかなければなりません。岩手県民の皆さまを中心に、当クラブを応援して頂ける全てのファン・サポーターの一人でも多くの方々にご満足いただける発展を遂げられるよう、これからも努めて参ります。
7. 今シーズン開始前にもサポーターズカンファレンスを実施していたかと思うがどこから数えて2回目なのか？
⇒2017シーズンの第1回目ということで、このようなテーマとなりました。今後も、〇〇シーズン第〇回目という形で組ませて頂きます。とはいえ、今シーズン中に2回目ができるのか、というところも未定でございますので、話し合うべきトピックスがございましたら、皆さまとも事前に擦り合わせながら、開催できればと思います。
8. 今回のカンファレンスの開催について、試合日の当日午前というスタッフも我々サポーターも準備で忙しい時間帯に敢えて開催する事に違和感を覚える。本カンファレンス 10:00~12:00、事前搬入時間が 11:00~12:30 である。せめて試合前日に開催するとか、サマーブレイク(7/29~8/13)中にするなどの対応は出来なかったものか？本時間帯にした狙いをお聞かせ願いたい。試合前に行う事によって時間切れを狙う意図も見え隠れしてならない。
⇒冒頭でご説明した通りでございますので、割愛させていただきます。
9. クラブ名を変更する場合には、サポーターと話し合いの場を設けてほしい。県全域をホームタウンとしている他クラブでも、ヴァンフォーレ甲府や名古屋グランパス、ツエーゲン金沢など都市名をクラブ名に入れて活動しているチームがある。
⇒後程ご説明いたしますが、今後、クラブ名やエンブレムをどうするのか、については、変更ありきで動いておりません。但し、クラブのホームタウンの基盤や、応援して頂くファン・サポーターの裾野と、クラブ名・エンブレムは限りなく親和性の取れたものにしていきたいとい



う想いはございます。今後、じっくり検討できる時間はございますので、クラブの方針を定める中で、皆様と適宜議論をさせて頂けますと幸いです。

10. 2019年以降に「チーム名称に「岩手」を加える」との事だが「加える」であって「盛岡から置き換える」では無いという認識で正しいのか？また略称についてはどのように考えているのか？

⇒先程ご説明した通りでございますので、割愛させていただきます。

11. 将来的に J2 や J1 を目指すにあたって、スタジアムの改修・新設は必須になるが、全県をホームタウンとする場合、スタジアムを整備する場所のこだわりはクラブとして盛岡ということなのか。それとも、県内で早急にスタジアム整備の対応ができれば盛岡にこだわらないのか。

⇒先程のご説明と一部重複いたしますが、やはりクラブ発祥の地である盛岡は、今後もこだわりたいと思います。J3 にいる間も、我々としてもより良い環境でリーグ戦を開催したいですし、J2 に上がれる状況ともなれば、J2 基準のスペックを是が非でも求めていきたいと思ひます。

12. 8月20日の北上市開催は15000人動員プロジェクトとなっているが、構想にどの位時間をかけたのか？



⇒北上市の開催、および本プロジェクトについては、先程ご説明のとおり、約半年間かけて練って参りました。今後発表させて頂く様々なイベントや仕掛けを通じて、今までにない盛り上がりを見せ、一人でも多くの方々が、プロスポーツエンターテインメントの素晴らしさ、グルージャ盛岡の魅力を体感して頂ければ幸いです。



【今後の展望に関するご共有-②：宮野】

岩手“一岩”のプロサッカークラブを誕生させるために



	現 状	構 想	
チーム名	グルージャ盛岡 エンブレム  『グルージャ』はスペイン語で『鶴』という意味。盛岡藩主南部家の家紋『向かい鶴』と、盛岡名物『じゃじゃ麺』、岩手の方言に多く含まれる『じゃ』の響きにちなんでいます。	未定 エンブレム  盛岡発祥のクラブであることを維持継続するため、現在のエンブレムのモチーフは残しつつ、岩手“一岩”のコンセプトを織り交ぜ、チーム名に相応しいエンブレムに改良を施します。	名実ともに岩手“一岩”のクラブに発展し、岩手県全体からより一層応援して頂けるようなチームを目指します。
ホームタウン	盛岡市	岩手県および県内33市町村	新たなチーム名に併せて、Jリーグに登録するホームタウンを県内全域に広がります。
スタジアム	盛岡:いわぎんスタジアム  収容人数:5,000人 メイン個席:1,200席 三方芝生席:3,800席	盛岡:いわぎんスタジアム 継続  収容人数:5,000人 メイン個席:1,200席 三方芝生席:3,800席 北上:北上総合運動公園陸上競技場 新規(案)  収容人数:22,000人 メイン個席:5,000席 三方芝生席:17,000席 釜石:釜石鶴住居復興スタジアム 新規(案)  収容人数:16,000人	Jリーグのルール上、メインのホームスタジアムでの試合開催率は80%を満たすことが規定されています。従いまして、盛岡のスタジアム(現状:いわぎんスタジアム)を引き続きメインスタジアムとして使用しつつ、残り約20%を北上・釜石のスタジアムで行い、盛岡市内外を問わず、多くの方々がいわてグルージャ盛岡の試合を身近に感じて頂ける施策を打ちたいと考えています。

5

チーム名やエンブレムにつきましては、先程ご説明した通りでございますが、岩手“一岩”のコンセプト、ホームタウンの拡大と親和性のあるものに改良を施す可能性がございますが、まだ決定ということではなく、今後の流れや皆さまからのご意見を賜りながら、時間をかけて検討して参ります。直近ですと、コンサドーレさんがクラブ名・エンブレム名を変更しましたが、Jリーグには13カ月ルールがございまして、こうした変更の際には、13カ月前に上申する必要がございます。従って、年内に岩手県および全市町村からご承認を頂き、実施的な要素が整ったところで、上申の手続きに進みたいと思います。

ホームタウンは、先程ご説明したとおりでございますので、割愛させていただきます。

最後にスタジアムですが、北上に加え、来年完成予定の釜石市の釜石鶴住居復興スタジアムでの開催も、検討して参りたいと思います。釜石市とはまだ具体的な話し合いを設けていない中での、見切り発車の内容となるのですが、一方、釜石市が公表している釜石鶴住居復興スタジアムの活用の中に、Jリーグのエキシビジョンマッチという記載がございます。そもそも、釜石市で開催する意義や利点をよく検討しながら進めて参りますが、ラグビーW杯のレガシーを他競技であるサッカーも継承していくことで、沿岸を中心とした地域でのスポーツの盛り上がりには貢献できればと考えております。



【北上市開催に関して：宮野】

続いて、北上市での開催を決めた主な3つの理由が、こちらとなります。

ご参考



北上総合運動公園陸上競技場の活用

ホームタウンを盛岡市のみから北上市を含む岩手県全土に広げ、更にホームゲームの開催も、Jリーグの試合開催を満たす北上市のスタジアムを活用し、県内130万人の方々にとって、心身ともに身近に感じ、アツク応援したくなるクラブを実現します。

北上市開催の魅力



県内外からの好アクセス
県南エリアの方々はもちろん、アウェイサポーターのアクセスが良好



収容人数2万2,000人の大型施設
岩手県が誇る大型スタジアムでの開催により、非日常的なスポーツエンターテインメントの空間を演出



県内唯一のオーロラビジョンの活用
プロスポーツの盛り上がりには欠かせないオーロラビジョンの活用により、「ホーム」感をアピール

6

まず一つ目が、立地環境になります。盛岡市および県北の方々からの距離は遠くなってしまおうのですが、県南の皆さまのアクセスが良好になること、また、秋田や福島、栃木等、アウェイチームによってはアクセスが良くなることなどが挙げられます。

2つ目が、見た目どおり、迫力ある大型施設の活用です。その他、隣接の芝グラウンド、体育館、および8月22日にオープンする人工芝グラウンドの活用も見込めますので、試合前後でも様々なイベントを催し、Jリーグの試合を観るだけではない楽しさを演出したいと思います。

3つ目が、県内唯一のスタジアム併設のオーロラビジョンです。他クラブでよく見られる、ホームチームへのアドバンテージを出すような映像を準備し、会場全体の非日常的な空間を演出しながら、ホームチームの地の利を全面に押し出せればと思います。

なお、当日を盛り上げる施策を幾つかご紹介させていただきます。

当日は、15,000人動員というチャレンジングな目標を掲げておりますが、面白そう、行ってみたいと思って頂けるような1日を演出していきたいと思っております。

地元高校のブラスバンドや、地元のチアリーディング、天然芝を活用したサッカーフェスティバル



や、釜石シーウェイブス RFC さんによるラグビー教室、ラグビーW杯イベント等を予定しています。また、当日は地元ボクシング界の英雄である八重樫東さん、佐藤洋太さんにもお越し頂き、スペシャル企画を実施頂く予定にあります。

また、検討中ではございますが、ハーフタイムも一大リレー大会を行う等して、見る側だけでなく演出する側にも回って頂けるような企画も考えています。

(※) こちらは、砂被り席（ピッチに近い席）の設営を優先する事と致しましたので、今回の実施は見送る事と致しました。

【ホームタウン追加に向けたスケジュール】

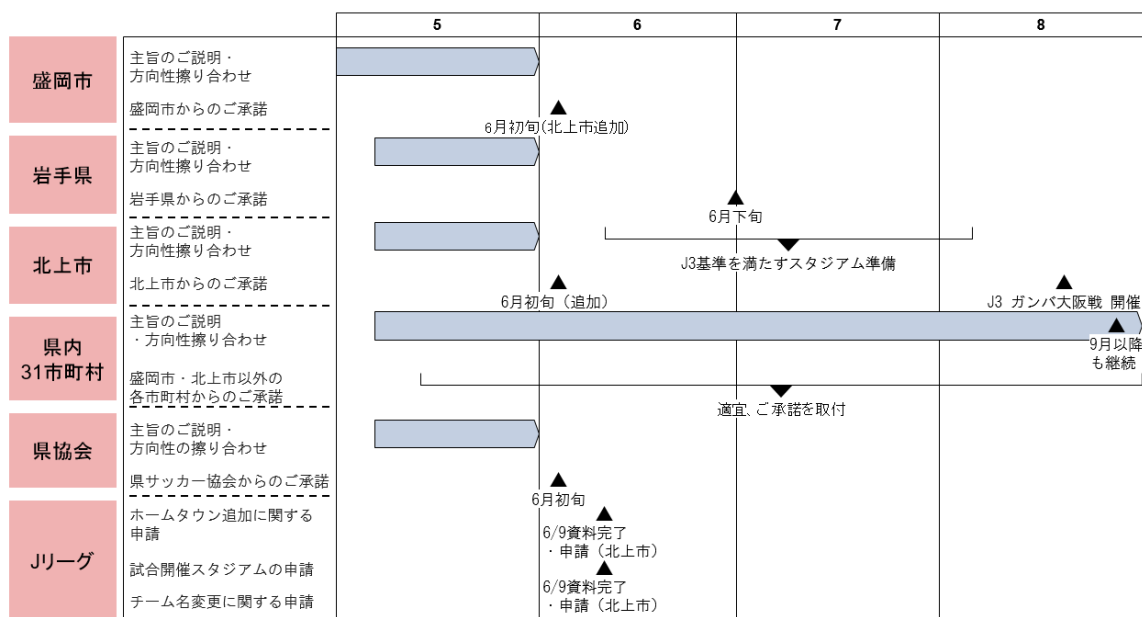
先程ご説明いたしました、ホームタウン追加に向けたスケジュールがこちらとなります。

年末にJリーグに上申するまでは、クラブリリース、またはマスコミの記事はほぼ出ないかと思いますが、1つ1つ、着実に取り組んで参ります。

ご参考



ホームタウン追加に向けた今後のスケジュール





ご参考

ホームタウン追加に向けた今後のスケジュール

		9	10	11	12
盛岡市	主旨のご説明・方向性擦り合わせ				
	盛岡市からのご承諾				
岩手県	主旨のご説明・方向性擦り合わせ			▲ 31市町村追加・チーム名等変更ご承諾	
	岩手県からのご承諾			▲ 31市町村追加・チーム名等変更ご承諾	
北上市	主旨のご説明・方向性擦り合わせ			▲ 31市町村追加・チーム名等変更ご承諾	
	北上市からのご承諾			▲ 31市町村追加・チーム名等変更ご承諾	
県内 31市町村	主旨のご説明・方向性擦り合わせ			▲ 31市町村追加・チーム名等変更ご承諾	
	盛岡市・北上市以外の各市町村からのご承諾				
県協会	主旨のご説明・方向性の擦り合わせ				
	県サッカー協会からのご承諾			▲ 31市町村追加・チーム名等変更ご承諾	
Jリーグ	ホームタウン追加に関する申請				▲ 理事会申請
	試合開催スタジアムの申請				
	チーム名変更に関する申請				▲ 理事会申請

10

ご参考まで、他クラブのチーム名・エンブレム変更の事例が以下となります。

ご参考) チーム名変更事例

市町村名を付しながらも、実際にはより広域にファン・サポーターを抱え、サッカー教室・各種イベントを行ってきたクラブは、活動領域に見合ったクラブ名に変更し、より充実した地域密着を図ってきました。



	変更前	変更後
ホーム タウン 拡大	 コンサドーレ札幌	 北海道コンサドーレ札幌
	 ベルマーレ平塚	 湘南ベルマーレ
	 ザスパ草津	 ザスパクサツ群馬
	 ジェフユナイテッド市原	 ジェフユナイテッド千葉
ホーム タウン 移転	 ヴェルディ川崎	 東京ヴェルディ1969

5



各クラブ、様々な背景や目的があって変更を施して参りましたが、グルージャ盛岡のベンチマークとなりうるのが、北海道コンサドーレ札幌さんです。

岩手県同様、面積が大きく、なかなか道内全土にクラブの認知度や興味・関心が浸透しないことから、名実ともに北海道のクラブであることをアピールするため、変更を加えました。

ご参考

Jリーグとコミュニティ



全国各地において、Jリーグは人々の生活に潤いと活力を与え、スポーツの力で街の活性化に貢献するポテンシャルを持っています。



Jクラブはホームタウンで**重要な役割**を果たしている



Jクラブはホームタウンで**大きな貢献**をしている



サッカーは若い人たちの**生活に良い影響**を与えることができる

■ 大いにあてはまる ■ あてはまる ■ どちらともいえない ■ あてはまらない ■ 全くあてはまらない

7

ご参考まで、ホームタウンになることにより、人々の心境にどんな変化が生じるのかを表した統計がこちらとなります。

我々も、受け身の態勢でこうした好影響を期待するわけではないですが、気持ちの面で自分たちのクラブであるのご認識頂き、ホームタウン活動も拡充することで裾野を広げていければと思います。

【その他事前質問へのご回答：宮野・松田】

■ユニフォーム

1. 価格が高い。レプリカユニフォームとして2~3000円で販売できないか？

⇒グルージャ盛岡は、これまでレプリカユニフォームがなく、かつ、当たり前前にありそうなグッズもままならない状況が続いていました。昨年11月以降、クラブのあらゆる契約を見直す中で、ユニフォームサプライヤーも検討の土台に挙げました。結果、選手をはじめとしたチームのパフォーマンス向上、ウェア類だけではなく、スパイク、栄養面などへ手厚いサポート、グッズ展開の連携等を考慮し、アンダーアーマー様に変更させて頂きました。国内ですと、プロサッカークラブへのサポートは大宮アルディージャのみであり、海外で、例えばグルージャ



盛岡と同じ白のユニフォームで見ると、トットナムやサンパウロ FC という、各国のトップクラブへのサポートがメインのグローバルメーカーからのご支援を獲得でき、大変有難く感じております。

話はそれてしまいましたが、さすがにそこまで安価での販売は致しかねますが、来季は時間に余裕もございますので、実は、既に来季ユニフォームのデザインや、レプリカ他、皆さまに喜んでいただけそうなグッズの打合せをしております。インフラを整える1年となってしまっておりますが、来季はこの基盤を元に、更に充実したクラブ運営ができるよう努めて参ります。

2. チームユニフォームの販売が J 3 リーグ開幕戦には間に合わず、CLUB ICHIGAN 特典でのユニフォーム発送は5月下旬となった。サポーターにとって、開幕戦をそのシーズンの新しいユニフォームで迎えることは非常に重要なことであるので、来季以降はリーグ開幕戦までに新ユニフォームがサポーターの手に届くようにして頂きたい。

⇒11月以降の企業再生の中、諸々が後手となってしまい申し訳ございませんでした。また、ファンクラブ特典のユニフォームに関しては、ライセンスの関係上、J マークがつかない、スポンサー獲得が期中となり、追加スポンサーの圧着サービスが間に合わない等、ご期待にお応えできず、重ねてお詫び申し上げます。来季は、開幕までに余裕をもってお届けできるよう、順次手配を進めて参ります。

■新規顧客獲得

1. 同じリーグでも圧倒的にサポーターが少ないが、グルージャのファンは沢山いる。原因として、サポーターの敷居が高く閉鎖的、一緒に応援しにくいとか、一緒に応援したくないグルージャのファンが多くいると思うが、会社としてファンの新規開拓の方法としての方針は？

⇒こちらのご質問は、スタジアム現地で主にゴール裏で応援頂けるサポーターの拡充と、そもそものファン・サポーターの拡充の2点が盛り込まれているかと思えます。1点目は、個人的には特に敷居が高いように感じておらず、歌詞の作成や、スタジアム内に一緒に応援しようというポスターを貼って頂いたり、非常にソフトな印象を持っております。むしろ、クラブとしても非常に大切な、チャントを鳴り響かせながら応援頂けるサポーターを増やすことに具体的な提案を示すことに手を回しておらず、申し訳なく感じております。

個人的には、ゴール裏で応援したいライト層の方々は、階段状になっているゴール裏の上のほうからスタートし、徐々に馴染みながら下の方に降りてくる傾向があると思えます。他方、いわぎんスタジアムは、見ての通り平坦なゴール裏で、かつバックスタンドに行く通路を兼ねてしまっており、如何ともしがたい形状をしています。このハンディを打破し、より賑わいのあるスタジアムを作る為、ゴール裏サポーターの皆さまともコラボを増やして参ります。

先日、福島戦の勝利後に拡声器で「メインスタンドの皆さん、バックスタンドの皆さんも、共に盛り上がりましょう」と音頭を取って鶴の恩返しをして頂いておりました。この後行われる試合から、DJ の山本さんからもお声がけ頂き、より一体感のあるスタジアム作りを醸成いたします。

次に、そもそものファン拡充でございますが、こちらは一言では申し上げることが難しく、多



角的に検討しながら、あらゆる施策を実施して参ります。実働隊のフロントメンバーは昨シーズンとほぼ変わっておらず、マンパワーに限界はございますが、引き続きマネジメントの試行錯誤と、自らもプレイヤーとしてフル稼働しながら、フロント一岩でファンの拡充に努めて参ります。

■広報関連

1. J's GOAL の公式ライターはグルージャの担当のようだが適任なのか？

⇒J リーグ側でご指定頂いたライターさんにご担当頂いております。クラブの重要な発信源でもございますので、ライターさんをお願いしたいことは、評判も含めてざっくりお伝えし、より読みがいのある記事を書いて頂けるよう、連携をして参ります。

2. 昨年のサポーターズカンファレンスで、盛岡駅や大通り、肴町など盛岡市中心部でグルージャの「グ」の字も見えない状況であるため改善していくという趣旨の説明があったが、これまでに進捗はあったか。

⇒なかなか、一朝一夕に露出を増やすことは出来ておりませんが、大通や肴町といった商店街、盛岡駅などとの対話を続けております。一点、上期のポスターは、昨シーズンの1,500枚に対して5,000枚作成し、県内全土に掲出することができました。また、郵便局とのコラボにより、人々の生活に溶け込む形で、露出を増やすことが出来ました。

盛岡駅に関しては、JR および盛岡市と対話をしているのですが、西口のさんさこまち通りが新設されるまで、短い期間でしたが試合告知のポスターを掲出させて頂きました。来季、岩手ビッグブルズさんがタカヤアリーナをメインとする関係上、西口を活用することも増えるかと思っておりますので、プロスポーツチームとしてタッグを組み、目立つところへの露出を共に行って費用対効果を上げたいと思っております。

3. 盛岡駅でのチラシ配りを春先にされていましたが、もう行う予定は無いのか？目に見える効果は無かったのかも知れませんが、一度や二度で止めてしまっはあまり意味が無いのでは。ホーム開催前全ては難しいとは思いますが、月一くらいで継続して行って欲しい。

⇒駅前広範囲に亘って2回、イオン様、TSUTAYA 様にて2回、不特定多数を対象に実施いたしました。認知度を上げる意味では少なからず効果はあったかと思っておりますが、集客に繋がる即効性はやはりなく、現在は他の方法を優先して実施しています。それは、企業や学校、行政等に訪問して、ビラ配りとお声がけを集中的に行わせて頂き、団体でお越し頂く直接動員に繋がる活動に注力しています。10人、20人というご来場が積もり、結果、今シーズンはここまで、100%有料（含：スポンサー特典の招待券）で昨シーズン以上の動員を達成しています。

この直接動員の活動と、不特定多数への告知活動は、今後も吟味しながら合わせ技で実施していきたいと思っております。

4. HP のトップページに団扇の協賛スポンサー募集のフラッシュが未だに出ているが、クリックしてみると6月9日に既に締め切っている内容である。



⇒フロントでの指示が徹底されておらず、申し訳ございません。まだまだ細部の精度を高めることができずにありますので、今後も改善に努めて参ります。

強化に関しては、松田強化・プロモーション担当より、お応えさせていただきます。

(松田)

こんにちは、本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠に有難うございます。強化に関するご質問にお応えさせていただきます。

■強化

1. 怪我人が多く出ているがレンタル移籍や大学生の特別指定登録などの考えはあるか？
⇒レンタル移籍や大学生の特別指定登録での補強は、現時点にて考えておりません。ここまでのところ、怪我人も多く出てきておりますが、彼らの復帰も目途が立ってきており、現在のメンバーにてチーム強化を引き続き行い、戦っていく予定です。
2. 今季ここまでのトップチームの成績はJ 3リーグ：1 2位（3勝5分5敗）、天皇杯2回戦敗退となっているが、これをクラブとしてどのように評価しているかをお聞かせ下さい。
⇒ここまでの結果は、物足りないものがありますし、皆さんもそのように感じられているとは思いますが、徐々にですがチームの形は発展しつつあり、先日の浦和戦を機に、少し勢いも出てきたなという印象を持っています。チームは、昨年からのパスサッカーを継続・発展させるべく取り組んでいます。利三監督は、春先のキャンプから継続して、中盤から裏を狙うパス、走り出しを意識的に指示していますが、昨年は逆に中盤から細かく繋ぎ続けることを指示されていたため、選手達もなかなか順応できず、試行錯誤が続いていましたが、最近にきてようやく、思い切ったパスや、シンプルにゴールに向かうシュートが出てきたため、利三監督の意図するスタイルが浸透しつつあるなという状況です。
3. 田中選手、安楽選手、今関選手が怪我により長期離脱を余儀なくされているが、クラブ専属のフィジカルコーチを雇用することまでは難しいと思うが、何か対策は無いのか？
⇒安楽に関しては、骨折した箇所を再度痛めてしまう事態が起きてしまいました。トレーナーを中心に最良な方法を模索して取り組んだ結果が結果の為、何らかの不足があったともいえるかもしれませんが、Jのトップでも、世界のトップでも、人間の身体なので何が起こるか分かりませんし、仕方がないとは言いたくないが、よりパワーアップして復帰できるように、サポートをしていきたいと思えます。今関、田中に関しても、突発的なものであり、トレーナー云々のことではないので、なるべくこのような事態がないように、選手達には入念な準備を心掛けてもらっています。

■チケット

1. S S指定席のシーズンパスを購入する際、座席の指定が出来るように改善して欲しい。
⇒コンサートも然りですが、各プレイガイドで座席指定をできるサービスがありませんが、まずは自前で座席指定が可能となるように勧めていますので、何らかの形で座席



指定のサービスを開始したいと思います。自前では、EC-SITE の機能を活用して、座席指定ができるように整えられるため、こちらを活用できればと思います。

2. ゴール裏席をA自由席より安く設定出来ないか？いわスタのゴール裏は、ほぼ通路で、観戦環境として考えると、価格差をつけるのが妥当と思う。
⇒座席の配置やチケット価格は毎シーズン検討しておりますので、こちらのご意見も参考にさせていただきます。

■運営

1. 鶴の恩返しタイムが、スタジアム全体で盛り上がるように、クラブもサポートして欲しい。先日の福島戦では、ゴール裏からコールリーダーの方が「メインスタンド、バックスタンドも一緒に！」とトラメガで促してくれ、スタンドでも何人かが肩を組んで歌っていました。
⇒先程ご説明させて頂きました対応を行って参ります、宜しくお願い致します。
2. サポーターの事前搬入時間を過ぎても場内に入出入りしているようだが、ゴール裏サポーターは搬入時間に関係なく出入り自由なのか？
⇒横断幕などの搬入はルールを共有しながら行っております。このあたり、クラブ側でも意識しながら取り組んで参りますので、引き続きご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。
3. 荷物の事前搬入との事だが、実際には荷物を置いたり旗をピッチ上に固定しており、事前搬入が実質サポーターによる場所取りとなっているがクラブとして黙認しているのか？
⇒こちらも上記ご質問同様、安全・安心にスタジアムの運営ができるよう、引き続きご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

■運営

1. 危険物を持ち込んでいるとは言わないが、持込み禁止の缶飲料などが持ち込まれる可能性は無いだろうか？
⇒Jリーグの規定を順守し、ボランティアの皆さまのご協力を賜りながら、入場時に手荷物の検査を実施しております。他方、缶等の持ち込みは禁止されていることをご存じでないお客様もいらっしゃいますので、より分かりやすいPOPを用意する等して、改善に努めて参ります。
2. ピッチへの無断侵入について。以前入場開始後にピッチへおそらく無断と思われる侵入があった事をクラブが把握しているか？通常ピッチへの飛び降りについては禁止されているはずだが、クラブは認めているのか？また、他チームの試合であれば入場開始時にはピッチに係員やJ1クラブになると警備員を配置してピッチ上の安全確保に努めているが今の状態でピッチ上または選手、スタッフの安全確保はされているのだろうか？※尚、本質問 2・3 については回答を得られない場合Jリーグへ質問並びに報告として上げさせて頂く事も検討する。
⇒ご指摘頂いた事態が、いつ、どのように発生したか、毎試合注意を払っているのですが、ク



ラブとして斯様な事態を把握しておりません。試合当日に雇用している警備会社と連携の下、安全対策は行っております。もしかしたら、ご存知の通り強風が吹きやすい環境ゆえ、応援の横断幕が捲れた際に、ピッチに降りて直す等が起こる可能性があります。未然の防止策、および起きた場合の対処方法について、周知徹底をしてまいります。

3. ホーム開催試合において選手入場時の『I' m Forever Blowing bubbles』のサポーターの合唱が試合進行に組み込まれていないため、非常に中途半端なものになっている。一体感を作るためにも、入場前に時間を設け、(イントロだけでも)カラオケを流すなどにはできないか？
⇒当クラブの音源は、連携している業者とも擦り合わせを行い、すべて無料音源で対応しております。JASRACの問題があり、『I' m Forever Blowing bubbles』を無条件で流すことができないのですが、合法的に取り込めるよう、対応を進めて参ります。条件が整いましたら、流す前にご報告させていただきます。
4. ホーム長野戦で陽だまり工房さんがマッチデイスponsorとなったが、残念ながらコーポレートカラーがオレンジ色で配布物の袋を持っていたので、スタンドにオレンジ色が広がってしまった。マッチスponsorの陽だまり工房さんにも配布物を持っていた観客にも責任はありませんがせめて対戦相手と違うコーポレートカラーの企業に変更するなどの対策はできなかったものか？カラーギャング的な発想では無いですが、グルージャのホームスタジアムの雰囲気を作りあげるのにわざわざ相手のチームカラーを増やさなくても良いものかと思えます。営業の苦勞は大変良く分かりますが 今後のご参考にして頂けたらと思えます。
⇒こちらは、我々も気づいてはおりましたが、対策を講じることができなかったこと、また、予想以上にオレンジが映えてしまったため、反省しておりました。スponsor様の兼ね合いもごさいますが、有難くスponsorをして頂いた企業様が「スponsorをしてよかった」と思っ
て頂けるよう、配慮して参ります。
5. 岩手県北にある企業にホームゲームマッチの冠スponsorになっていただくような企画、岩手県北にゆかりのある有名人(久慈市の能年玲奈さん)などとグルージャを絡めるなどグルージャ色を強め盤石の基盤を築きあげてもらいたい。
⇒アドバイス有難うございます。開幕前にのんさんの事務所にはご依頼させて頂いたのですが、日程が合わないということで、あえなく断念いたしました。TVを見ていると、試合当日に盛岡にいたということもありましたので、ゆかりのある他の著名人含め、アプローチしてみます。その他、最近ですと岩渕真奈さん、原菜摘子さん、木村元彦さん、そして本日は平嶋啓史さんにお越し頂きます。著名人のご来場含め、毎試合、異なる賑わいをもたらせるよう引き続き取り組んで参ります、



1. 北口へのグルマル移転は利便性が上がり良かった。一方で南口と比較して狭く、北口でのグルマルはキャパとして来場 1,500 人くらいがギリギリと感じる。今後動員数を増やしていく中で快適なスタジアム環境を提供するには、南口へ戻すことも検討が必要だと思うがどう考えますか？
⇒クラブ内でも、北口・南口をどのように活用すべきか、議論をしています。双方にメリットがあるため、ベストな形が何かを、グルマルの業者様はじめ、様々な意見を頂戴しながら検討を進めて参ります。
2. グルマルを南側に戻す場合は、ゴール裏もホーム⇄アウェイ入れ替えも同時に検討して下さい。
⇒風向きからして、南側のほうがピッチ全体に音が通ることもあり、今日、クラブからもお伺いしたいと思っていました。ホームチームを南側に変えると、ベンチやロッカールームも全て南側に変更されます。駐車場や飯岡駅からの道のりなども考慮しつつ、先程のご質問も含め、来シーズンどうすべきか、検討を進めて参ります。
3. 「J3 でナンバーワンのスタジアムグルメ」を目指しませんか？HP のホーム戦イベント情報の告知について。グルマルの情報をもっと詳しく紹介してはどうか。・美味そうな写真、メニュー、値段をセットで・グルマル特設ページの開設の検討
⇒グルマルの皆さまのおかげで、グルージャ盛岡のスタジアムフードは、美味しいものが沢山そろっています。これをどのように PR するか、改良を加えて参ります。
4. グルマルに「サラダファーム」、「焼肉髭」をまた呼んでほしい
⇒サラダファーム様には出店のご依頼をしており、秋口の試合あたりでご出店を頂くべく、引き続き調整いたします。「焼肉髭」様は、以前ご出店頂いた経緯もございますので、再度アプローチしてみます。

■その他

1. 肝心の盛岡市における、グルージャ盛岡の知名度は、定着してきたとはなかなか言い難い状況ではないでしょうか？まずは盛岡市に愛されるチームを目指し、盛岡さんさ踊りへの参加を期待しますが、今度も参加の予定はありませんか？（「参加」というのは、明治安田生命でうちわを配ることではなく、グルージャ盛岡として団体登録して参加者を募って祭りへ参加するということを指しています。）
⇒シーズン中ということもあり、なかなかスケジュール的に練習の機会を得られずにいたようです。今シーズンも、7月下旬までリーグ戦があり、かつ、さんさ踊りの直前の週はチームがOFFの期間となりますので、踊りは難しいと判断しています。とはいえ、踊りをする事で初めて受け入れられる空気が多分にごさいますし、徳島ヴォルティスさんが阿波踊りに参加されていて非常に良い雰囲気であること等、他クラブの好事例もございますので、来シーズンの課題と致します。

（※）カンファレンス後に改めて調整を行い、初めての試みとなり、ぎこちなさ満点かとは思



いますが、可能な限り練習をして、フルパワーで踊りに参加する事と致しました。各選手は自主練や、限られた全体練習を通じて、「栄夜差踊り」を身体に染み込ませます。当日は、是非、温かい眼差しでご覧いただければ幸いです。

2. 前副社長の不祥事による損害とそれに起因したJリーグ制裁金により、危ぶまれておりましたクラブの財務状況の見通しは？3期連続赤字または債務超過の場合、Jリーグライセンス不交付となるが、当面その心配が無いことだけはサポーターに向けて確約して頂きたい。

⇒昨シーズンの決算は、J3昇格後、クラブ史上最低の収入である1億4200万円、当期純利益は▲1億5800万円、純資産も約470万円と、債務超過ギリギリ、かつ2年連続赤字という結果となりました。更に今シーズンの船出は、様々なマイナス要因が取り巻いていることもあり、信頼の失墜からの回復に追われ、まさにどん底の崖っぷちからのスタートでした。クラブとして、今シーズンはRESTARTをスローガンに掲げていますが、個人的には、フロント・チームともにスクラップ&ビルドの気概でやらなければ、負の遺産を払拭しきれない、寧ろ、このタイミングでないと払拭できないと思ひ、当初から取り組んできました。まだまだ、思うように払拭できない負の遺産はありますが、ここまでは、クラブ全体での努力が実り、スポンサー様からのご協賛を主とした広告料収入は、クラブ最高であった一昨年の1億1千万円を、現時点で既に突破することができました。

また、毎試合の興行収支ですが、昨シーズンはホーム15試合中、黒字は5試合のみ、しかもそのうち4試合は数万円程度の黒字で、約2,800人を動員した最終節の栃木SC戦が約75万円の黒字という結果でした。今シーズン、ここまで7試合を消化しましたが、全試合、数十万円の黒字で推移しています。ちなみに、開幕戦のカターレ富山戦はオペレーションの不徹底で入場者数の大幅なカウントミスという失態もあり、本来は1,300-1,400人ほどのご来場があったかと思いますが、この試合は昨季の栃木SC戦と同規模の黒字化を達成しました。他の試合も同様ですが、過年度までクラブが行っていた、浅はかな目的で行っていた青天井の無料チケットの配布を完全に辞め、有料チケットのみに変更したことで、客単価の大幅な改善が見られたことは明るい兆しと捉えています。なお、入場者数はここ最近伸びてきており、昨シーズン対比でも微増しておりますが、有料チケットの動員で比較をしますと、飛躍的に動員が伸びてきております。

また、グッズにつきましても、自前でのスタジアム販売、EC-SITEの立上げたことで、過年度の比較にならない増収が図れています。特に、EC-SITEでは、全国から多数のご購入を頂いており、全国でグルージャ盛岡を応援して頂いている方に、グッズをお届けできること、また、クラブといたしましても、全国各地から応援頂いていることを実感する次第でございます。

先日、Jリーグの中間監査を受け、資金繰りの目途も含めて打合せを行い、今季の黒字化に向け、予断は許さないものの、着実に取り組んでいくことで達成しうる事で擦り合わせました。胸を張って、サポーターの皆さまにご安心下さいとまで申し上げることは現時点で出来ませんが、引き続き支出の最小化と収入の最大化を心掛け、取り組んで参ります。

3. 昨季までと比較してスポンサー数、契約金額はどのように進展しているのか？



昨シーズンのスポンサーが約 110 社であったのに対し、今シーズンは現状、プラス 210 社（計約 320 社）まで伸びてきております。契約金額は先程申し上げた通りでございますが、昨シーズンの 7,200 万円から失地回復を果たせたことは、大変有難く感じております。残り半年間も、様々な知見を活かしてご協賛を増やしていければと思います。

4. 前監督であった神川明彦氏が違約金の支払いを求めて訴えを起こしている件について、現在可能な範囲で経緯と今後の見通しは？

⇒5月27日付のリリースで出させて頂きました通り、我々としては支払う義務がないという判断であり、引き続き先方に対しての主張を、法廷を通じて行っていきたくと思います。無用な場外戦を繰り広げたくないので、コメントは差し控えさせて頂きたいのですが、我々としては、神川氏に対して誠意をもって対応してきたにもかかわらず、最終的に法廷で争わざるを得ない事態となったことを、大変残念に思っております。本件に関しては、昨シーズン在籍していた選手達、応援して頂いたファン・サポーターの皆様等が納得できる形で終わられるよう、鋭意取り組んで参りたいと思います。

5. 岩手県内で 15000 人動員するイベント自体無かったと思うが、15000 人となると北上市と合併前の旧和賀町とほぼ同数レベル。警備員配置やトイレや物販、飲食の確保など平均 1000 人の動員のクラブで 1 万人規模のノウハウを誰一人持っていないと思うが対策は出来ていますか？テロ対策、防災救護計画、警備計画、輸送計画等現時点の進捗率をお聞かせ下さい。駐車場確保も含めて 15000 人を満たすホスピタリティを用意していないと初見の人はリピーターにならない。無闇な無料招待券のばら撒きはリピーターを産むどころか、会場にすら来てくれないのは去年の無料招待で経験済みかと思えます。

⇒北上市の皆さまとも現在進行形で連携を進めており、結果・内容ともに成功裏に終わるべく、入念に対策を進めて参ります。1 万人規模の動員のノウハウに関しては、フロントの渡部・宮野にて他クラブの経験から把握している部分、および国体の運営の舵取りを行っていた県庁のご担当者の知見をご共有頂きながら、ベストな選択を取っていきます。また、ボランティアの人数も今回は多数必要となって参りますので、日頃、盛岡にてご協力頂いている皆さまにも、是非お力添えを頂きますと幸いです。

6. フロントの主要メンバー（菊池社長、宮野常務、松田強化・プロモーション担当など）も SNS（ツイッターやフェイスブック）などのアカウントを開設し、宣伝やファン・サポーターとの交流の場としてみては？

⇒こちら、ご意見賜わり有難うございます。クラブは選手達がメインであり、松田をはじめ、フロントはあくまでもクラブを支える側の立場でありますので、クラブとして広告に割ける費用も限られておりますので、オファーによっては宣伝兼ねて出演等はしつつ、なるべく選手達を引き立てながらのスタンスを取って参りたいと思います。

■その他



1. フェアプレー受賞時の盾をスタジアムに飾ってはどうか。
⇒こちらもご意見賜わり、有難うございます。いわぎんスタジアムを見ると、小笠原満男さんのユニフォーム・サインは多数飾られておりますが、残念ながらグルージャ盛岡のモノは一つもないというのが現状でございます。拒まれているということではありませんが、飾りたいと思って頂ける実績を獲得し、飾って頂けるよう頑張っております。
2. ポンチョを作してほしい（キッズルとかどうでしょう）
⇒ポンチョ含め、皆さまに喜んでいただける商品の一つでも多くラインナップできるよう、お披露目に向けて進めて参ります。

【意見交換・質疑応答：宮野】

北上総合運動公園陸上競技場



意見交換の前に、皆さまと応援席をどこに配置するかのご意見を賜りたいと思います。オーロラビジョンの下側に位置するゴール裏とするか、または福島ユナイテッドさんのように、メインの両サイドを応援のポジションとするか等、いくつか考えられると思います。

(ご意見)「ゴール裏は弾幕を貼れるのか」

⇒要確認

(ご意見)「トイレはどうするのか」

⇒国体同様、仮設を用意する予定。

(ご意見)「現在の看板やバナー、ベンチはどうするのか」

⇒設置場所は検討しながら、かつスポンサー様にもご理解頂きながら設置する。



(ご意見)「オペレーション全体の台本や、導線を明確にしておいてほしい」
⇒なるべく早めに整えて、ご共有できるようにいたします。

【会場内での質疑応答】

1. 今シーズンからポスターや意見箱の設置、SNS の発信等が多く見られ、今まで縁遠いクラブであったのが身近に感じられるようになった。質問は3点あります。

(1) J3 のクラブレベルはあまり差が無いように感じるが、うちのクラブの選手を見ていると、今イチ気が抜けているプレイが散見される。盛岡のファンは優しいのであまり苦言を呈さないが、実際のところ、そのあたりのモチベーションについてどう思っているのか？

⇒(松田) 確かに毎試合見ている、仰られた様な気持ちの入っていないプレイだなと感じることがあります。他方、毎日、選手達の練習を見ているが、選手同士で言い合ったり、本当に真剣に練習に取り組んでいます。僕も現役時代感じていたが、確かに盛岡のサポーターの方々は本当に優しいなど感じることもあったので、厳しい言葉もどんどんかけて頂ければ発奮に繋がると思います。

(ご意見)「逆に、何も言わないのは選手達には厳しいはずだ。色々と言って勝ってくれるなら、言うよ。スタジアムから帰らないとか(笑)」

⇒(松田・納得。)

(2) 先程話があったが、無料チケットの配布はお金を払って見に来ている人たちを無碍にすることにもなるため、引き続き有料チケット化の動きは実施してほしい。

⇒現状の方針を維持・継続していきたいと思います。他クラブも然りですが、無料招待が次につながるというフェーズまで辿り着きましたら、その時に、実施を検討できればと思います。

(3) SS の座席指定は、LOPPI 等でもできるようにするのか？

⇒プレイガイドでの実施は、各プレイガイドの機能とすり合わせを行って参ります。自社 EC-SITE ですと、実施が可能となりましたが、自社サイトだけだと皆さまの使い勝手がいいかどうか吟味しながら実施したいと思います。また、現在、郵便局では数に限りがあることもあり、SS 指定席を扱っていないが、例えば中央郵便局のみ販売可能とする等、何かしらの有効策があれば実施を検討したいと思います。

(4) もう一点補足で、アンダーアーマーは来年も継続するのか？

⇒来シーズンも継続の予定です。

2. 試合毎の SS 指定席の指定は出来ないのか？

⇒シーズンパス然り、試合毎の指定も対応できるように仕組みを整えます。

3. SS 指定席が狭い。来シーズン、改善してほしい。

⇒来季は席数を減らして余裕を持たせるよう、工夫して参ります。



4. 意見が2点あります。

(1) 北上が成功に終わっても、次に、盛岡に繋がるように集客の仕方や、当日のホスピタリティをしっかりと取り組んでほしい。

⇒ (クラブとして斯様に取り組んで参ることを約束)

(2) 今後の流れの中で、サッカー専用は大切にしてほしい。

(補足ご意見) 秋田では社長が「サッカー専用しか作らない」宣言し、行政を巻き込んで漕ぎつけた。成績がモノを言って、動員も2,000人を超えてきているのでスタジアム新設に辿り着いたと思うが、見習って動いてほしい。

⇒ (クラブとして貴重な参考意見として取り入れさせて頂く)

5. クラブの発足以来、「盛岡」という名前を全国でアピールしている。その割に、盛岡市役所はどうなっているのか。もう少しサポートがあってもいいのではないか。もっと営業を仕掛けて、タイアップをしてほしい。

⇒ (クラブとして貴重な参考意見として取り入れさせて頂く)

6. 北上での試合はガンバ大阪 U-23 が相手だが、対戦相手はどのように考えたのか？

⇒半年前から検討をスタートした際、夏芝のコンディション、北上陸上競技場の空き具合、リーグ戦の日程を突合せた結果、ガンバ大阪 U-23 との試合日が唯一可能な日程でした。従って、今シーズンは同試合の開催をターゲットに進めて参りました。来季以降は、アウェイチームのアクセスの面、夏芝のコンディション等を前もって吟味していきたいと思えます。

7. グルマルが大好きだが、業者は他のイベントを優先せずに、もっと出店頂けることは出来ないのか？

⇒ご意見を賜り、有難うございます。各業者様には、グルージャ盛岡を懇意にさせていただきながら、可能な範囲でご優先頂いている状況です。既存のご出店者様を中心に、よりご満足いただける形を追求して参ります。

8. 今年のポスターはグルージャということが分かりづらい。より分かりやすいデザインにしてほしい。

⇒下期は全面にグルージャという文字、そして監督・選手を出させて頂きました。また、サイズも大きくしておりますので、こちらをご覧頂いてまたご意見を賜りたいと思えます。

9. タウンミーティングのような形でもいいので、開催する地域も工夫しながら、定期的に様々な意見交換の場を設けると良いと思う。

⇒ご意見有難うございます、今後の参考とさせて頂きます。



10. 先日、田嶋幸三さんが盛岡に来た時、照明を付けるような話を聞いたが、行政から「いわぎんスタジアムに照明をつける」ような話は聞いていないか。
⇒残念ながら、現状、そのような話は聞いておりません。

【キズールに関する補足：宮野】

最後に、昨日リリースいたしました「キズール」に関して補足いたします。リリースした投票結果の通り、スタジアム・インターネット共に、1位を獲得したキズールを公式マスコットに据えることで決まりました。殊、キズールに関しては立体化の問題もはらんでおりましたが、一般投票を開始する前に、そのあたりの課題もクリアした上で開始しておりました。

今回ご協力頂きました campfire 様からは、投票開始 24 時間で達成率 20%を超えると、最終的な成功確率が 94%というアドバイスを頂きました。クラブとして、ロケットスタートをする為のご協賛のお願いを意図的にすることなく開始しましたが、おかげさまで開始 12 時間で 18%を超え、24 時間で 20%達成も視野に入ってきております。プロジェクトの終了まではまだまだ時間がございますので、手数料やリターン品の用意等を指し引いても十分に、皆さまのご支援で立体化を実現できるよう、情報拡散とご支援のお願いを続けて参ります。引き続きサポートの程、何卒宜しくお願い致します。

【締めの挨拶：菊池】

長時間に亘り、誠に有難うございました。皆さまから頂いた貴重なご意見を参考に、クラブ一岩となって、応援されるにふさわしいクラブを作りたいと思います。

この後の試合の応援も、何卒宜しくお願い致します。

以 上